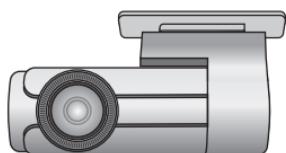
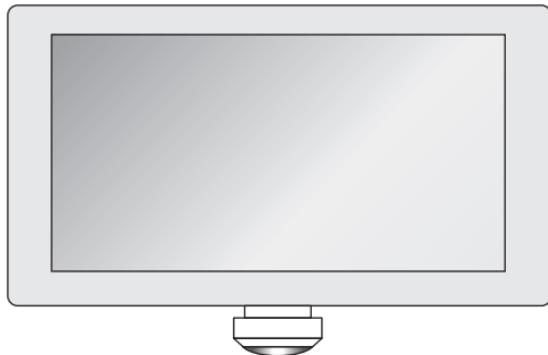


Regeo

GPS搭載リヤカメラ付き360°ドライブレコーダー

DZ-520GR

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめにお読みください

microSDカードについて	1	録画種別	29
安全上のご注意（必ずお守りください）	3	動画記録	30
使用上のご注意（必ずお守りください）	6	録画方法	33
注意事項	7	録画ファイル	34
商品構成一覧表	11	再生モード	36
各部の名称と働き	12	PCビューワーについて	37
microSDカードの挿入・取り外し	13	設定メニュー	38
microSDカードのフォーマット	14	トラブルシューティング	40
本機の取り付け	15	その他	44
リヤカメラの取り付け	19	仕様	45
電源オン/オフについて	22		
モニター画面（タッチパネルスクリーン）	24		
画面表示モード	26		

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHCやmicroSDXCカードを便宜上、「microSD」および「SDカード」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。
- 本取扱説明書の見返しに製品保証書が掲載されています。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 常時電源ケーブルを使用した際の駐車監視機能は、車両のバッテリーを使用します。そのため、車両のバッテリーに負担がかかりますので、定期的に点検をしてください。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は、録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

microSD カードについて

microSDカードのフォーマットとは？

フォーマットとは、microSDカード内のデータを初期化することであり、長期間、microSDカードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイル断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせず使用し続けると、正常に録画ができなくなったり、microSDカードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくため、製品お買い上げ時および1ヶ月ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSDカードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSDカード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSDカードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください



安定してご使用いただくため、microSDカードを定期的にフォーマットしてください。※推奨1ヶ月ごと

SDカードのフォーマットについての操作方法は、
P14を参照してください。

microSDカードについて

- ・付属のmicroSDカードは本機専用です。
- ・本製品使用時は付属のmicroSDカードを使用してください。
- ・本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- ・microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります
- ・本機専用のmicroSDカードを購入する場合は、サービスセンターにてお求めください。
- ・安定してご使用いただくため、定期的にmicroSDカードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・microSDカードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・付属品以外の市販品microSDカードを使用した場合の誤動作、動作不良については一切の責任を負いかねます。
- ・付属品以外の市販品microSDカードとの互換性および相性については、ご対応しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- ・本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- ・microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- ・microSDカード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができないなり、正常にご使用できなくなります。
- ・microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- ・microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。
予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- ・microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- ・microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源をオフにしてください。
- ・microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- ・microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- ・あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- ・フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- ・フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ・思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしていけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、
また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルト
やナットを絶対に使用しない

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画像・表示を注視しない

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないよう引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

!
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

!
煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

!
小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

!
取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

機器の通風孔を塞がない

!
機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

DC12/24Vマイナスアース車で使用する

!
DC12/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

!
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

!
内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 \ominus を外しておく

!
バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

!
配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

- 🚫 車載用以外(例えばレジヤーポートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

- ❗ 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

- 🚫 ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

- ❗ 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

- ❗ 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

- ❗ 雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

- ❗ 強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

- ❗ 雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

システムには限界があります

- 🚫 本製品のカメラ機能は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

本体背面のヒートシンクに触れない

- ❗ 通電中および電源オフ直後は、本体背面にあるヒートシンク部分が高温になる場合があります。直接触れると火傷、怪我の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠ 注意

取り付け中はエンジンを切る

⚠ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

⚠ トンネル出入時、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラス、リヤガラスと本機のレンズの表面をきれいにする

⚠ 車のフロントガラス、リヤガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。

信号機の色を認識できないことがあります

⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカードの上書きに注意

⚠ microSDカードの容量上限に達すると、各ファイルが上書きされます。必要に応じて、大切なファイルを保管または削除して、microSDカードの容量を確保するようにしてください。

日本国内のみで使用する

⚠ 本機は日本国内のみで使用できます。海外では使用できません。

注意事項

GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約 50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位を行うことはできません。
- 本機の録画データに記録される日時、位置情報はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 本体に塗装やシール貼付等しないでください。内蔵されているGPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。
- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性があります。
- フロントウィンドウガラスに取り付ける際、本体が他の車載器に被らないように取り付けてください。本体が遮蔽されている場合、GPS受信できなくなる可能性があります。
- 本体は各車載機器(※1)および各アンテナ(※2)からなるべく離した位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
 - ※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
 - ※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど
- GPSの受信環境により、起動時間が長くなったり、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- 最後に電源オフしてからの自車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などを搭載した車両のミラーに設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーション本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。
- 本機はGPSが本体に内蔵されていますが、車種や取り付け位置によってGPSが受信しづらくなる場合があります。その場合は、別売品のGPSユニットをお求めください。
→別売品について「P44 その他」

注意事項

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディションにより、エンジン再始動時に本機の電源が落ちる場合があります。その場合は、車両バッテリーの電圧を確認してください。

録画について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプやディスプレイを注視しないでください。
- 静止画撮影を行う場合、周囲の安全を十分に確認した上で操作してください。
- 設定操作を行う場合は、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態(パークリングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態)で行ってください。
- 夜間に録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 電源オン後、SDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

注意事項

取り付けについて

- 本書の「本機の取り付け」「リヤカメラの取り付け」にしたがって、正しく取り付けてください。
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- 本体に衝撃を与えないでください、破損だけがの原因になります。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム(カメラ)などに干渉しない場所へ取り付け・配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- 本体やリヤカメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかりと拭き取り、確実に取り付けてください。
- 車両の室内ルーフが本体に被ってしまう車両はGPSを受信しにくい場合があります。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り回しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のものは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

注意事項

液晶ディスプレイについて

- 本体が発熱することがあります。異常ではありません。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、実際に見える現実の風景と異なる場合があります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、表示フレームレートの影響から、応答速度が遅くなり、滑らかに表示しない場合があります。
- 偏光サンゴラス使用時、表示が見えにくい場合があります。

リヤカメラについて

- 本製品専用のリヤカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リヤカメラは本体同様、防水構造ではなく、室内専用品となります（ケーブル含）。必ず車内へ取り付けてください。
- リヤカメラの配線処理の際、ケーブル類が車両のドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線をすると、断線等が起き、故障や破損の原因となります。
※配線処理が困難な場合は、車両販売店や専門業者へお問い合わせください

シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。
- シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。本体への電源供給不足により、正常に動作しない場合があります。また、カメラ映像画面にちらつきが発生する場合や火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

本機の日付と時刻について

- 本機の日付と時刻はGPSデータを受信すると自動で設定されます。
※トンネルやビル群、山間部などGPSを受信できない環境では日時が取得できません
※GPSを受信できない環境に置かれた場合、録画データの日時にずれが生じることがあります

カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。
また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

再生ファイルについて

- 本機で撮影した映像ファイルをパソコンで再生する場合、専用のPCビューワーソフトを使用して再生してください。他の再生ソフトでファイルを再生すると、球面状で再生されますので、あらかじめご注意ください。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

同梱品

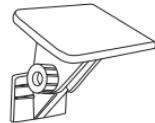
■本体



■リヤカメラ本体



■取り付けブラケット



■シガーエンタープライズ
(約2m)



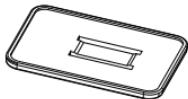
■シガーエンタープライズ
延長ケーブル
(約1.5m)



■リヤカメラケーブル
(約7m)



■リヤカメラ取り付けステー



■microSDカード(16GB)
※本体に挿入済み



■保証書

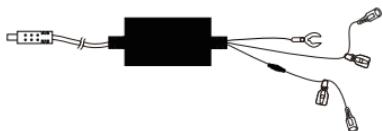


■取扱説明書



別売品(別途、お買い求めください)

■常時電源ケーブル(DRC-P05)

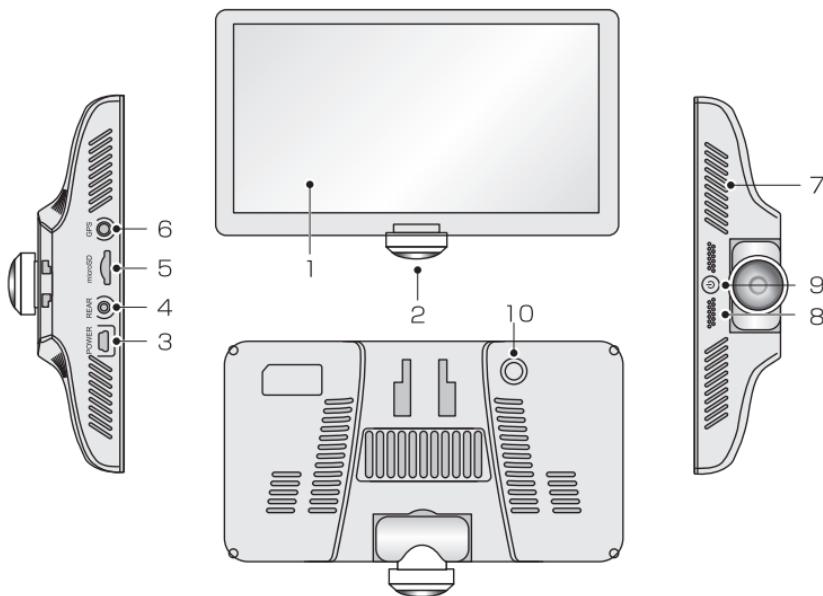


■GPSユニット



→別売品について「P44 その他」

各部の名称と働き

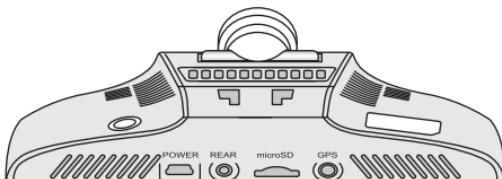


- 1.液晶モニター画面
- 2.フロント(360°)カメラ
前向き/下向きに可動することができます。
- 3.シガー電源ケーブル差込口
シガーアダプターの接続端子を差し込みます。
- 4.リヤカメラ接続口
リヤカメラケーブルを差し込みます。
- 5.microSDカードスロット
microSDカード挿します。
- 6.GPSケーブル接続口
別売品のGPSユニットケーブルを差し込みます。
- 7.スピーカー
- 8.マイク
- 9.電源ボタン
電源オン・オフまたは画面の表示・非表示の操作を行います。
 - ・長押し(約3秒)：電源オン時=電源オフ/電源オフ時=電源オン
 - ・短押し : 画面表示時=画面非表示
画面非表示時=画面表示
- 10.リセットボタン
本体をリセットする場合、このボタンを押します。

microSDカードの挿入・取り外し

microSDカードの挿入及び取り外し際は、以下の説明をよく読んで行ってください。
microSDカードは精密機器となりますので、取り扱いには十分注意してください。

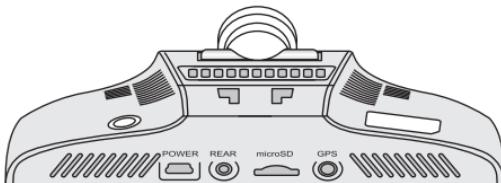
microSDカードを取り外す



microSDカードを取り出す際は、microSDカードを押し込み、
microSDカードが少し飛び出してから引き抜きます。

※勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失にご注意ください

microSDカードを挿入する



microSDカードの向きに注意して、スロットに差し込みます。
microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを
確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください

ご注意

- ・ microSDカードを挿入する際は、正しい向きを確認してから挿入してください。
- ・ 付属品のmicroSDカード以外を使用すると、正しく録画ができない可能性があります。
- ・ microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ・ 事故発生時は、記録された映像データが破損しないよう、microSDカードを抜いて、保管してください。
- ・ microSDカードを取り外す際、飛び出す恐れがありますので、紛失にご注意ください。
- ・ 電源が入っている状態でmicroSDカードの挿入または取り外しを行うと、データの破損や本体が故障する恐れがあります。
- ・ 記録されたファイルを消失しないように、定期的に別の記憶媒体（パソコン等）にバックアップしてください。

microSDカードのフォーマット

本製品をご使用になる前に、microSDカードをフォーマット（初期化）してください。
フォーマットの手順は下記の通りです。

※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください

microSDカードのフォーマット手順

- 1.microSDカードが挿入されていることを確認してください。
- 2.車のエンジンをオン（ACC ON）もしくは、本機の電源ボタンを操作して、本体を起動します。
→電源の入れ方について「P22 電源オン/オフについて」
- 3.起動すると、自動的に録画が開始されるので、画面をタッチして、メニューバーの「録画停止」ボタンをタッチします。
※録画を停止しないと設定メニューに切り替えることができません
※画面モードをカメラ画面に切り替えないとファンクションボタンが表示されません
- 4.設定メニューボタンをタッチして、設定メニューに入ります。
- 5.[システム設定]をタッチします。



- 6.システム設定項目にある「フォーマット」を選択します。
- 7.設定メニュー内にある「フォーマット」を選択します。
⚙️ をタッチすることで、メニュー項目が切り替わります。
→設定メニューについて「P38 設定メニュー」

- 8.「確定」をタッチするとフォーマットが実行されます。
「キャンセル」をタッチすると、操作を取りやめます。

フォーマットするとすべて
のデータが削除されます

確定

キャンセル



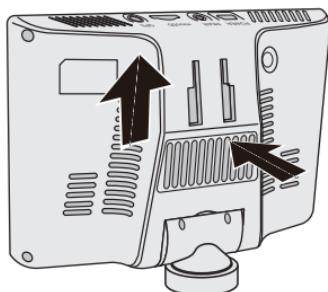
ご注意

- ・フォーマットすると、microSDカードに保存されている映像データが全て消去されますので、ご注意ください。一度フォーマットしたデータは復旧できません。

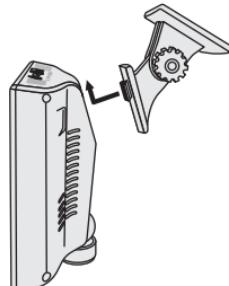
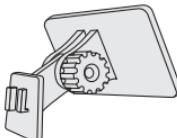
本機の取り付け

次の手順に従って、本製品を正しく取り付けしてください。

取り付けブラケットの取り付け

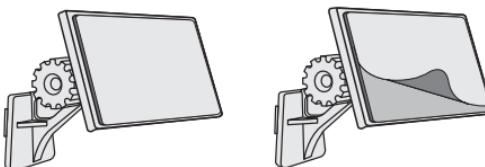


本機の背面にある凹部分とブラケットの凸部分を合せて、
ブラケットを上方にスライドしながら固定します。
※本機とブラケットを確実に取り付けてください。

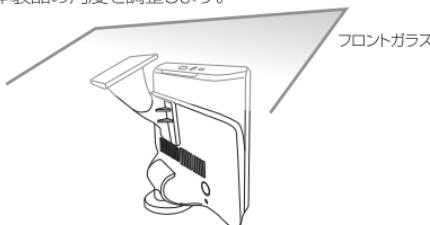


取り付け

取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油分をきれいに取り除いてください。
ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスへ取り付けます。



モニター画面を確認しながら、本製品の角度を調整します。

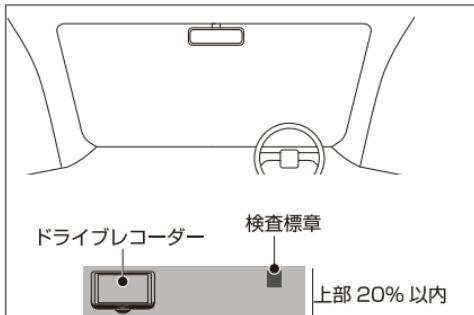


⚠ ご注意

- ・ 固定力を強くするために、本体を取り付け後、24時間以上放置してからご使用ください。
- ・ 貼り直しは粘着テープの粘力が弱まり、走行中に脱落する可能性がありますので、おやめください。
- ・ 取り付けステーのジョイント部分に無理に力を入れないでください。破損する場合があります。
- ・ 確実に装着できていることを必ず確認してください。走行中に脱落すると大変危険です。

本機の取り付け

推奨取り付け位置



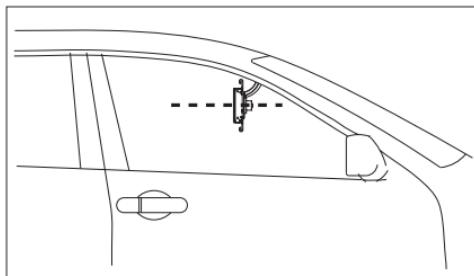
フロントガラスの中央部(ルームミラーの後方)に設置すると、最適な映像を撮影することができます。

※中央部に設置できない場合は、映像が片方に寄る場合があります

※運転手の視界を妨げない位置に設置してください

取り付け許容範囲内に取り付けてください。

※視界の妨げにならず、フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内



⚠ ご注意

- ・走行中、運転者によるカメラの角度調整や操作は絶対に行わないでください。
 - ・運転者の視界を妨げないように取り付けをしてください。
 - ・取り付けの際、本機の液晶部分やフレームなどを強く押したりしないでください。
 - ・紫外線の影響により、本体が色褪せる場合があります。
 - ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
- ※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

本機の取り付け

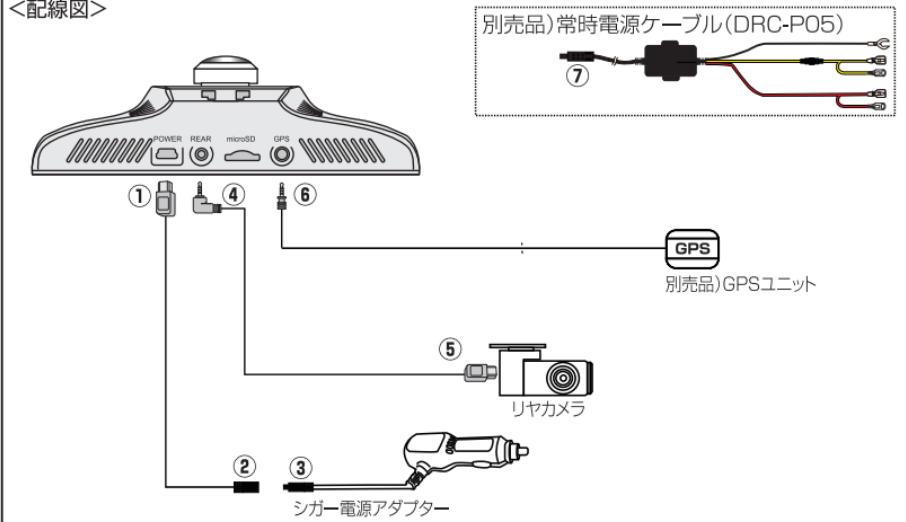
各種ケーブル接続

本体と各種ケーブル類を接続します。

ケーブルは以下の通り、各用途によって差込口が異なりますので、ご注意ください。

※各プラグには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。形状を確認して接続してください

<配線図>



<シガーエアダプターの接続>

①USBコネクタを本体へ接続します。

②黒プラグ+③シガーエアダプターを接続します。

※別売品の常時電源ケーブル使用する場合は、②黒プラグ+⑦黒プラグを接続します

<リヤカメラの接続>

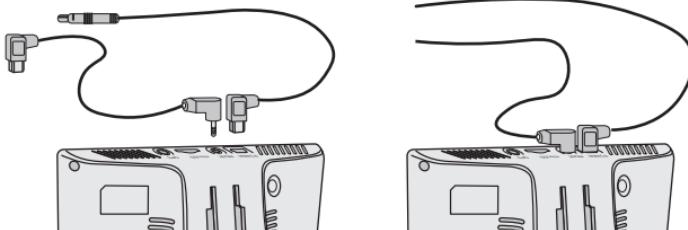
④ピンジャックを本体に接続します。

⑤USBコネクタをリヤカメラに接続します。

<GPSユニットの接続(別売品)>

⑥プラグを本体へ接続します。

※本機はGPSが内蔵されていますが、内蔵GPSの受信感度が悪い場合、別売品のGPSユニットを接続します



※接続イメージ

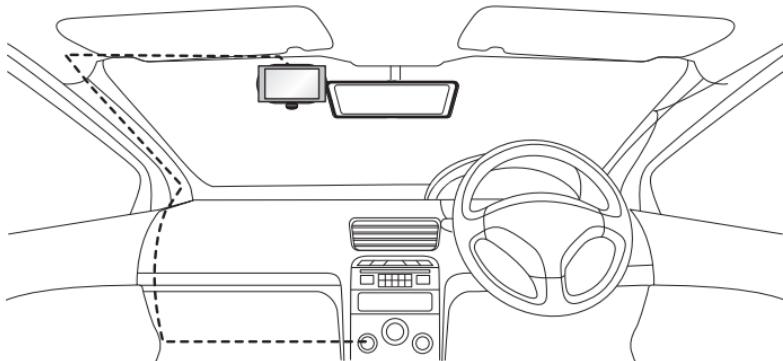
本機の取り付け

シガーエンターテイメントアダプターの接続

1. 同梱のシガーエンターテイメントアダプターを車両のシガーソケットに差し込みます。

※この時、車のエンジンはオフ（アクセサリーオフ）の状態で接続してください
(エンジンオン状態で接続すると、破損・故障の原因となります)

※接続イメージ



車両のシガーソケットから電源を取ります。

⚠️ ご注意

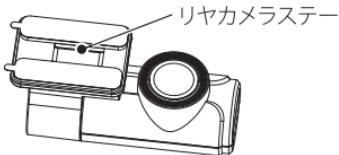
- ・シガーエンターテイメントアダプターは必ず付属品をお使いください。
- ・シガーエンターテイメントアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲（12V）を超えた電圧変動が起きる可能性があり、シガーエンターテイメントアダプターや本体故障の原因となることがあります。
- ・付属品以外のシガーエンターテイメントアダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。また、動作した場合であっても、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーソケットを分岐した状態で使用しないでください。分岐された状態で使用すると、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーライター使用直後は、電源端子が高温になっています。そのままシガーエンターテイメントアダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間をおいて、熱が冷めた状態でシガーエンターテイメントアダプターを接続してください。
- ・安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください（必要に応じてインシュロック等で配線してください）。
- ・長期間本機を使用しない場合、シガーエンターテイメントアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- ・キーを抜いた状態または車両電源がOFF状態でシガープラグに通電している車種は、バッテリー保護のため、エンジン停止時は必ず、シガーエンターテイメントアダプターを抜いてください。

リアカメラの取り付け

取り付けと配線

1. リヤカメラの設置場所を決め、リヤカメラステーを後部ガラスに貼り付けます。
※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます
※粘着力を高めるため、リヤカメラ本体を取り付け後、24時間放置することをお勧めいたします

リヤカメラステーを取り付ける前に、リヤカメラの上下を確認してから取り付けをしてください。

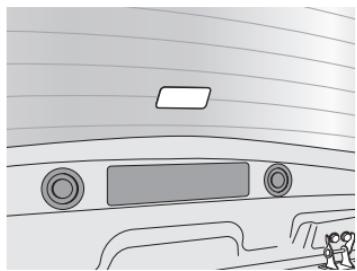


リヤカメラステーは、リヤカメラ本体からスライドさせることで取り外しができます

粘着シートを取り外す



後部ガラスにしっかりと貼り付けます



熱線

リヤウインドウの熱線を避けてステーを貼り付けてください。
ステー(両面テープ)を剥がす際、熱線を破損させる場合がありますので、ご注意ください。

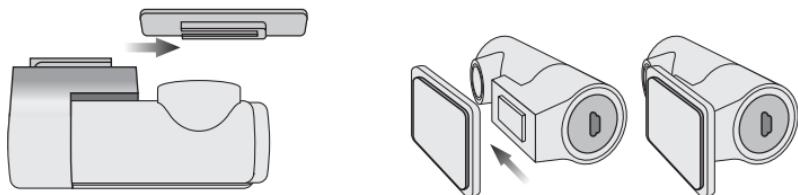
リアカメラの取り付け

2.リヤカメラステーをリヤカメラ本体へ取り付けてください。

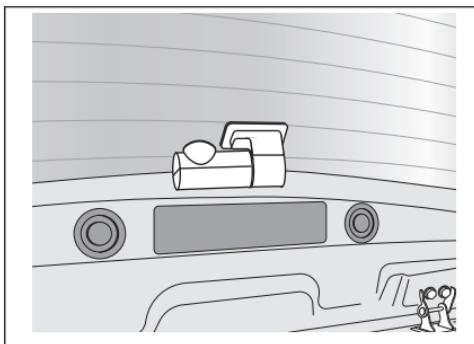
リヤカメラ本体のスライドレールに取り付けてスライドさせます。

※奥まで差し込み、ロックされることを確認してください。ロックされないと、走行中に外れる場合があります

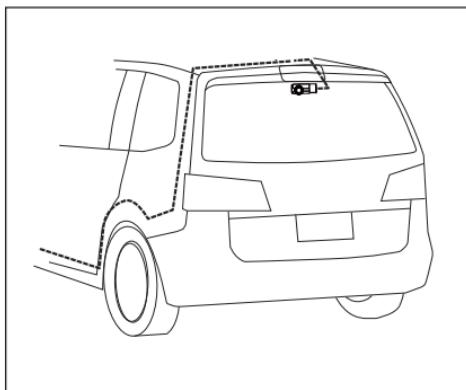
※無理な力で差し込むと、破損する恐れがありますので、ご注意ください



リヤカメラをステーにスライドさせながら取り付けます



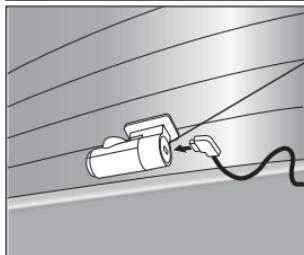
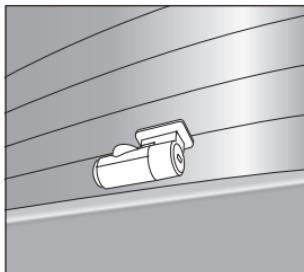
3.リヤカメラケーブルをリヤウィンドウまで配線します。



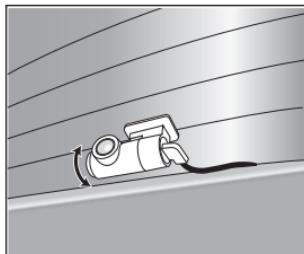
上図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リヤカメラケーブルの取り回しにより、車内上部(ルーフ、内張内等)を通す必要があります

リアカメラの取り付け

4. リヤカメラ接続ケーブルをリヤカメラ本体のUSBポート（端子）に接続します。

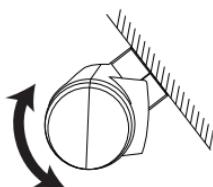


USBポート（リヤカメラケーブル接続口）



リヤウインドウの上部に貼り付け、角度調整することで、最適の映像を録画できます。

※カメラの角度調整をする場合は、カメラ本体を支えながら調整してください
(無理に回すとステーから外れる可能性があります)



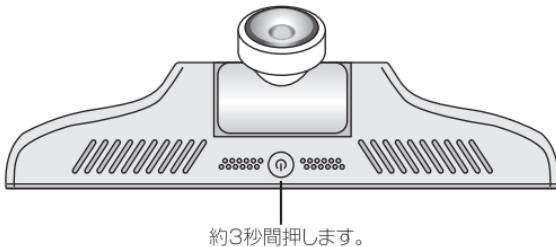
リヤカメラは回転することで角度を調整することができます。
※必ずステー部分を支えながら調整してください

⚠ ご注意

- 付属の取り付けステーは運転に支障をきたさない位置、エアバッグなどの安全装置の動きを妨げないように取り付けてください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。油分やホコリ、異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する場合があります。

電源オン/オフについて

電源をオンにする



約3秒間押します。

<エンジン連動>

- シガーエンジンアダプターが接続されている状態でエンジンオン（ACCオン）すると、自動的に電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。

<手動操作>

- 電源オフ中に電源ボタンを長押しすると、本機が電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。



⚠ 注意 電源をオンにしてからシステム起動まで数十秒かかります

電源をオフにする

<エンジン連動（シガーエンジンアダプター接続時）>

- エンジン（ACC）をオフすると、本機の電源がオフとなります。

<手動操作>

- 電源オン時に電源ボタンを長押しすると、本機の電源がオフとなります。

スクリーンオフ中の電源ボタンについて

スクリーンオフ中に、電源ボタンを短押しすると、スクリーンオフ機能を解除します。

※スクリーンオフ設定は無効になりますので、再度スクリーンオフ機能を設定し直してください。

→スクリーンオフの設定方法「P38 設定メニュー」

電源オン/オフについて



ご注意

<エンジン連動ON機能について>

- ・本機は、エンジン連動機能が搭載されているため、車のエンジンオンで自動的に電源が入るようになります。また、車のエンジンをオフにすることで、自動的に電源がオフとなります。
※車種によっては、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、電源ボタンを押して電源を入れるようにしてください。

<アイドリングストップ車での電源オフについて>

- ・アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります（バッテリーや配線を見直しをしてください）。
その場合、電源ボタンを押して再度電源を入れるようにしてください。

<電源オフ/オンのタイミングについて>

- ・本機の電源をオフした直後は、最終録画ファイルのファイナライズとともに内部メモリ保護回路が働くため、オフ直後に再度電源をオンした場合、電源が入らない場合があります。電源をオフにしてから約5秒～10秒以上経過した上で、再度、電源をオンするようにしてください。

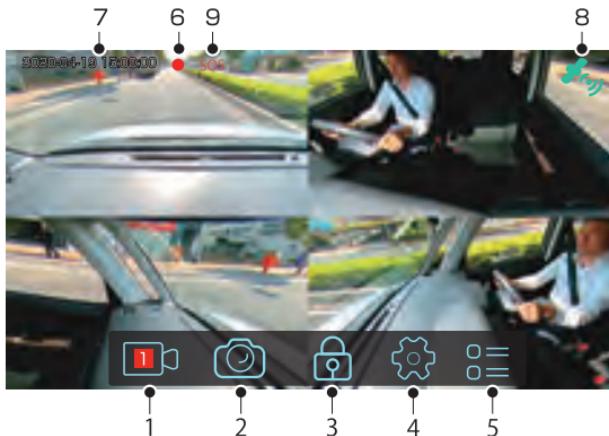
モニター画面(タッチパネルスクリーン)

モニター画面にタッチすることで、さまざまな操作が可能となります。

映像表示されている時にモニター画面にタッチすると、約5秒間メニューが表示されます。

メニュー(録画中)表示内容

録画中のモニター画面表示は以下の通りとなります。



1.録画ボタン

録画中はアイコンが赤く点灯します。

※アイコン内の数字は、1ファイルあたりの録画時間(1=1分/2=2分/5=5分)

※録画中にタッチすると、録画を停止します

2.静止画撮影ボタン

表示されているカメラ映像の静止画撮影を行います。

3.SOS録画ボタン

タッチするとアイコンが白色に変わり、録画中のデータを約30秒間のSOSファイルとして保存します。

4.設定メニュー(ボタン)

録画を停止してからタッチすると、設定メニューに入ることができます。

5.画面表示モードメニュー(ボタン)

画面表示モードの切り替えメニュー(画面表示メニュー)が表示されます。

6.録画中アイコン

録画中は●アイコンが点滅表示されます。

7.日時表示

現在の日時を表示します。

8.GPSアイコン

GPSを受信している時は緑色で表示します。

GPSを受信していない時は赤色で表示します。

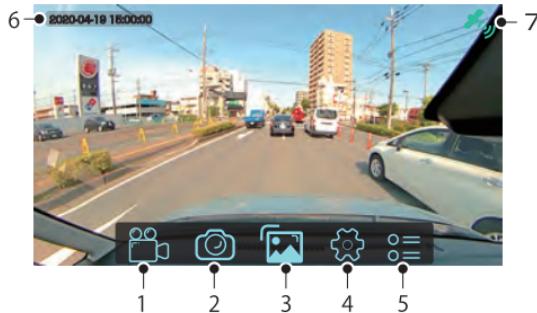
9.SOSアイコン

緊急録画中はSOSアイコンが表示されます。

モニター画面(タッチパネルスクリーン)

メニューバー(録画停止中)表示内容

録画停止中のモニター画面表示は以下の通りとなります。



1.動画撮影ボタン

録画を開始します。

2.静止画撮影ボタン

表示されているカメラ映像の静止画撮影を行います。

3.再生モードボタン

再生モードに切り替わります。

4.設定メニュー ボタン

設定画面に切り替わります。

5.画面表示モードメニュー ボタン

画面の表示モード切り替えメニューが表示されます。

6.日時表示

現在の日時を表示します。

7.GPSアイコン

GPSを受信している時は緑色で表示します。

GPSを受信していない時は赤色で表示します。

画面表示モード

表示モード

液晶モニターの画面表示モードは、4つのモードがあります。

ワイドアングルモード

カメラ:前向き

フロント方向を広角撮影します



※車室内の360°撮影はできません

球面モード

カメラ:下向き

全方位を円形に撮影します



※球面モードは、専用PCビューワーで再生させる際、パノラマ状で再生します

フロント&バックモード

カメラ:下向き

フロントおよびリヤ方向を上下2分割にして表示



マルチウィンドウモード

カメラ:下向き

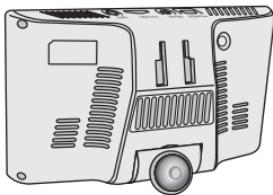
全方位の撮影範囲を前後左右4分割にして表示



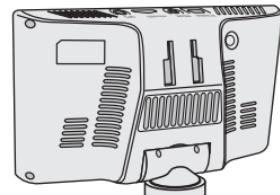
カメラ方向調整

カメラの向きや角度調整は手動で行います。

| 前向き



| 下向き



⚠ ご注意

- ・カメラの向きを変更する場合、レンズに触れないようにご注意ください。
- ・無理な力で回すと、故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ・それぞれのモードに対して、カメラの向きに注意してください。カメラの向きに誤りがあると、正しく撮影できません。

画面表示モード

画面表示モードの切り替え

録画中や録画停止中に画面表示モードを切り替えることが可能です。

モニター画面にタッチし、画面表示モードメニューの  アイコンをタッチすると、画面表示メニューが表示されます。



画面操作

画面の回転

モニター画面をスワイプまたはドラッグ操作すると、画面表示を任意に回転することができます。

※ワイドアングルモードは非対応



全画面表示

フロント&バックおよびマルチウィンドウモードでは、モニター画面をダブルタッチ(素早く2回タッチ)すると、タッチされた画面が全画面表示されます。

元の画面に戻すには、全画面を再度ダブルタッチします。

画面表示モード

リアカメラの表示

リアカメラを取り付けることで、リヤ映像を画面表示することができます。



ワイプ画面をタッチすると、リヤカメラ映像画面が全画面表示されます。

| ワイプ表示



| 全画面表示



※全画面表示時に画面タッチすると、ワイプ表示に戻ります

⚠ ご注意

- ・リヤカメラの映像のみで後退するのは絶対におやめください。
- ・後退する場合は、必ず目視で周辺を確認しながら行ってください。
- ・リヤカメラ映像は、表示モードの変更や画面表示の回転はできません。
- ・リヤカメラが映し出す範囲には限界があります。
- ・夜間や暗い場所など、使用環境によって画質が低下する場合や赤味を帯びたり、ノイズが発生する場合がありますが、故障ではありません。
- ・使用環境や状況により、太陽光や照明等の直接光、反射光がカメラ視野範囲内に映り込むと液晶画面が見えにくくなる場合があります。
- ・夜間など暗い環境下や照明の下などでは、実際の色味などが異なる場合があります。
- ・リヤカメラは、本製品専用カメラとなります。他のリヤカメラ製品を接続すると故障の原因となりますので、接続しないでください。
- ・カメラ映像に写し出される映像は、実際の距離間隔や車幅と異なって見える場合があります。

録画種別

録画の種類

本機は、通常に録画を行う『常時録画』と衝撃を感知した際に自動的に緊急録画ファイルとして扱う『緊急録画』、駐車時に衝撃を感知した際に録画を行う『駐車監視録画』の3種類の録画機能があります。



1.走行中(エンジンON中)

常時録画



エンジンON中、設定された常時録画時間で常時録画を行います。

設定時間は1分間/2分間/5分間となり、設定された時間を1ファイルとして録画します。
microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

- 常時録画時間の設定方法「P38 設定メニュー」
- 最大録画可能時間について「P34 録画ファイル」

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続	...
-------	-------	-------	-------	-------	------	-----



ご注意

- 常時録画のファイルは、microSDカード容量の上限に達すると、古い常時録画ファイルを上書きして保存を繰り返します。大切なファイルがある場合は、パソコン等へコピーして保管するようしてください。
- 上書きされたファイルの復旧はできませんので、ご注意ください。

動画記録

緊急録画



●緊急録画(衝撃検知録画)

搭載されたGセンサーが衝撃を感じると、衝撃を感じた時点の前後合わせて約30秒のSOSファイルとして保存します。

緊急録画が終了して、SOSアイコンが消えてから、通常の常時録画に戻ります。

●緊急録画(手動録画)

常時録画中に、SOSボタンをタッチすると手動による緊急録画を行います。

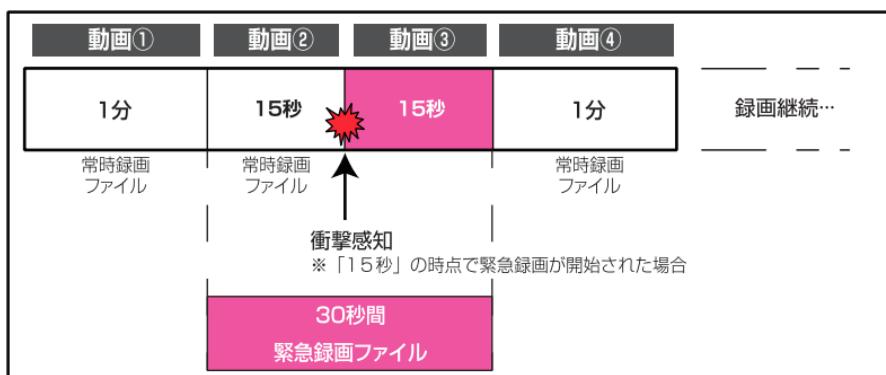
SOSボタンをタッチした時点の前後合わせて約30秒のSOSファイルとして保存します。

緊急録画が終了して、SOSアイコンが消えてから、通常の常時録画に戻ります。

<衝撃感知録画時のデータについて>

緊急録画は、衝撃を感じた時点を起点に前後約30秒間録画し、一つのファイルとして扱います。

緊急録画ファイルは、SOSファイルとして扱われます。緊急録画が終了すると、常時録画に戻ります。



⚠ ご注意

- ・衝撃感知は本体のみで働きます。リヤカメラでは機能は働きません。
- ・緊急録画ファイルは、microSDカード容量の上限に達すると、古い緊急録画ファイルを上書きして保存を繰り返します。大切なファイルがある場合は、パソコン等へコピーして保管し、microSDカードの容量を確保してください。
- ・上書きされたファイルの復旧はできませんので、ご注意ください。
- ・電源オン直後など、緊急録画が開始される前に15秒以上の録画がファイルがない場合は、最大約30秒の録画ファイルを生成します。
- ・緊急録画ファイルはパソコン等へコピーして保管するようにしてください。
- ・Gセンサーの感度を調整することができます
→感度の設定方法について「P38 設定メニュー」

動画記録

2.駐車監視モード(エンジンOFF)

駐車監視録画

※駐車中の衝撃感知は本体のみで作動します

本機は、別売品の常時電源ケーブル(DRC-P05)を接続することにより、エンジンオフ後の駐車中でも衝撃を感じると衝撃感知録画を行う「駐車監視モード」が搭載されています。

[駐車監視時の衝撃感知録画について]

車両エンジンをオフ(ACCオフ)すると、シャットダウンメニュー画面が表示されます。

「駐車監視」をタッチすると、約1分後に駐車監視スタンバイ状態となります。

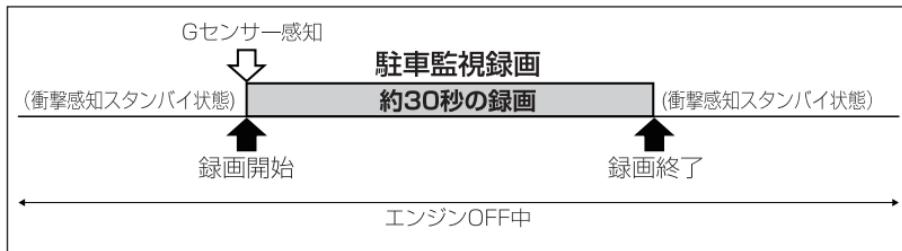
駐車監視スタンバイ状態中、搭載されたGセンサーが衝撃を感じると、自動的に駐車監視録画をおこないます（約30秒間）。

録画終了後は、再び、駐車監視録画のスタンバイ状態に移行します。

車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本機の電源がオンとなり、常時録画が開始されます。

●駐車監視録画

- 1.エンジンOFFする
- 2.モニター画面に表示されるメニューの[駐車監視]をタッチする
- 3.画面表示が消える
- 4.約1分後に駐車監視スタンバイに移行する
- 5.衝撃を感じると、「ピン」というBEEP音が鳴動し、約30秒間録画を行う



[緊急録画ファイルについて（駐車監視モード時）]

駐車監視録画は衝撃を感じてから録画を行い、その記録データを1ファイルとして保存します。

衝撃を感じてから録画を行います。感知前の録画は行いません。

※駐車監視録画中に再度衝撃を感じた場合、延長録画はされません

[駐車監視モードからの復帰]

駐車監視中、エンジンをオンすると、駐車監視モードが解除され、通常起動します。

⚠ ご注意

- ・駐車監視モードの機能をご使用する場合は、別売の専用常時電源ケーブル（DRC-P05）が必要となります。
- ・自動録画モードが[オフ]に設定されている場合、駐車監視モードを解除して通常起動した後、自動で録画開始されませんので、ご注意ください。
→自動録画モード設定方法「P38 設定メニュー」
- ・車両のバッテリーコンディションにより、録画回数（録画時間）が短くなる場合があります。
- ・車両バッテリー電圧が12V（12V車）/ 23V（24V車）になると電源供給を止め、駐車監視モードを終了し、電源がオフとなります。
- 専用常時電源ケーブル（別売）について「P44 その他」
- ・駐車監視モード中（スタンバイ状態および駐車監視録画中）は、本機の液晶画面は表示されません（液晶オフ状態となります）。
- ・駐車監視モード時に駐車監視機能をオフにしたい場合は、一度、エンジンオンしてください。
- ・ファイル保護した緊急録画は、衝撃を感知した時点から約30秒間録画を行い、SOSファイルとして保存されます。
- ・ドアの開閉時の振動を検出して、駐車監視録画が動作することがあります。
- ・衝撃を感じるのは本体に搭載されているGセンサーとなります。リヤカメラによる衝撃感知の機能は働きません。
- ・緊急録画ファイルはパソコン等へコピーして保管するようにしてください。
- ・衝撃感知のセンサーレベルによっては、駐車監視録画が多くなる場合があります。
環境に応じて、Gセンサーの調整をしてください。
- Gセンサー設定方法「P38 設定メニュー」
- ・駐車監視録画は車両バッテリーによって動作します。
- ・車両バッテリーの状態によって駐車監視録画機能が稼働できる時間や録画回数が異なります。
- ・駐車監視モード時の録画回数はmicroSDカードの空き容量や車両バッテリーの容量に依存します。
※録画環境などの条件により録画回数や録画ファイル数は変動します
- ・車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- ・次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでのご使用には十分ご注意ください。
 - ▶毎日走行しない場合
 - ▶1日の走行が1時間以下の場合
 - ▶車両バッテリーを1年以上使用している場合
※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください
- ・別売品の専用常時電源ケーブル以外は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- ・専用常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

録画方法

動画撮影方法

＜自動録画撮影＞

自動録画モードがオンに設定されている時は、電源オンで本機が起動すると自動的に録画が開始されます。

→自動録画モードのオン/オフについて「P38 設定メニュー」

＜手動録画撮影＞

モニター画面にタッチして、メニューバーを表示させ、アイコンにタッチすると動画撮影を開始します。

動画撮影停止方法

モニター画面にタッチして、メニューバーを表示させ、アイコンにタッチすると動画撮影を停止します。

録画が停止されると、画面左上の録画中アイコンが消えます。

静止画撮影

本機は、カメラに表示されている映像を静止画撮影することができます。

●静止画撮影をする

- 1.モニター画面をタッチして、メニューバーを表示させる
2. アイコンをタッチする

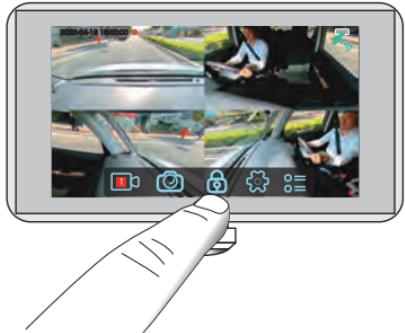


ファイル保護(ロック)

本機は、Gセンサーによる緊急録画以外に、SOSファイルを生成することができます。

●手動SOSファイルを生成する

- 1.録画中にモニター画面をタッチして、メニューバーを表示させる
2. アイコンをタッチします。
- 3.アイコンが白色の表示に切り替わり、SOS録画ファイルを生成し保存します。



録画ファイル

録画ファイルについて

本製品で撮影された各データは、microSDカードに保存されます。

動画データは、常時録画の設定時間ごとに分割され、microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

※重要なデータの消失を防ぐため、定期的なバックアップをおすすめします

→常時録画時間の設定について「P.38設定メニュー」

●最大録画可能時間について

- ・16GB(付属品):常時録画=約50分/緊急録画(駐車監視録画含む)=約22分
- ・静止画記録枚数=約253枚

※最大録画可能時間は、走行環境(昼夜)の状態などにより変動します

録画フォルダ

microSD カードに録画、静止画データが保存される際、以下のようなフォルダ構成となります。

※録画の種別により保存されるフォルダが異なります



録画ファイルと保存先フォルダ

録画ファイルと各ファイルの保存先については以下の通りとなります。

録画ファイル	保存先フォルダ	上書き
常時録画	A/B フォルダ	上書きされる
緊急録画	A/B フォルダ	上書きされる
駐車監視録画	A/B フォルダ	上書きされる
静止画	Pic フォルダ	上書きしない

※緊急録画や駐車監視録画ファイルは A または B のフォルダに保存されます

※ファイルの区別の仕方は、ファイル名で確認することができます



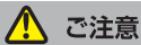
ご注意

- ・リヤカメラが接続されていない場合は、リヤカメラ映像のファイルは生成されません。

録画ファイル

録画ファイルの上書きについて

各録画ファイルは、microSDカードの容量上限に達すると、古いファイルを上書きして保存を繰り返します。定期的に大切なファイルがある場合は、パソコン等へコピーして保管するようにしてください。



ご注意

- 万一、古いファイルが上書きされた場合、ファイルの復旧はできませんので、あらかじめご了承ください。

録画ファイルのファイル名

各フォルダへ保存されるファイルは以下の通りとなります。
フロントカメラ映像とリヤカメラ映像はファイル名が異なります。
また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

| 映像ファイル（常時録画）

20200419_123456A.ts

記録日付

記録日時

拡張子

A : フロントカメラで撮影したファイル
B : リヤカメラで撮影したファイル

| 映像ファイル（緊急録画・駐車監視録画）

20200419_123456A_SOS.ts

記録日付

記録日時

拡張子

ファイル種別

A : フロントカメラで撮影したファイル
B : リヤカメラで撮影したファイル

| 静止画ファイル

20200419_123456A.jpeg

記録日付

記録日時

拡張子

A : フロントカメラで撮影したファイル
B : リヤカメラで撮影したファイル

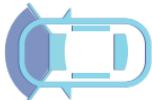
再生モード

本機で撮影した動画または静止画ファイルを本機で再生することができます。

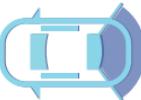
ファイル再生方法

●再生方法

- 1.録画を停止する
- 2.メニューバーの アイコンをタッチする
- 3.ファイル管理メニュー画面が表示される
- 4.ファイル種別アイコンをタッチする



フロントカメラ(動画)



リヤカメラ(動画)



フロント/リヤカメラ(静止画)

- 5.表示されたファイルをタッチすると再生される

動画再生画面



- 1.一つ前の動画を再生
- 2.再生/一時停止
- 3.次の動画を再生 ※古いファイルを再生します
- 4.画面表示メニューを表示 ※フロントカメラ動画のみ
- 5.前画面に戻る ※新しいファイルを再生します
- 6.現在の表示分秒
- 7.ファイルの総分数

※各ファイルを本機で再生する場合、約1秒程度、表示分數が短く表示される場合があります

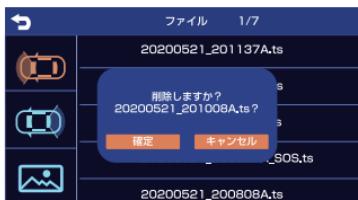
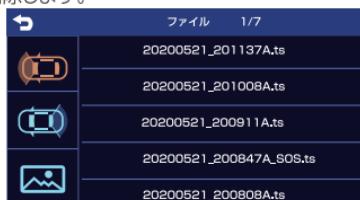
静止画表示画面



- 1.前の静止画を表示
- 2.次の静止画を表示 ※古いファイルを再生します
- 3.画面表示メニューを表示 ※フロントカメラ動画のみ
- 4.前画面に戻る ※新しいファイルを再生します

動画/静止画の削除

削除したいリストを長押しすると、削除メッセージが表示されます。[確定]をタッチすると、選択したファイルを削除します。



※SOSファイルは上記の操作では削除ができません

PCビューワーについて

専用のPCビュワーソフトを使用すると、録画した映像をパソコン上で様々なアングル表示再生ができます。

PC動作環境

対応OS	Microsoft® Windows® 10 (64bit)
CPU	Intel Core i5以上
メモリ	RAM 6GB以上 ※6GB以下の場合は正しく再生しません
HDD	100MB以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer® 10以降
その他	.NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者（Administrator）権限が必要な場合があります。 ※microSDカードを読み込めるパソコン環境が必要です。 お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしておりません ※インターネット環境が必要となります ※オフラインでも再生操作等は可能ですが、地図表示や地図との連携および本ソフトの更新はできません

- Macには対応していません。
- すべてのOS・パソコンについて動作を保証するものではありません。
- お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 機能改良のため、PCビュワーソフトのアップデートを行う場合があります。詳しくはホームページを参照ください。

※地図表示等が変更される場合があります。あらかじめご了承ください

PCビューワーマニュアルダウンロードについて

以下、弊社ホームページより専用PCビューワーマニュアルをダウンロードしてください。

http://www.innovativesale.co.jp/link/goods/azur/manal/DZ-520G_520GR_PCviewer_Manual.pdf

⚠ ご注意

- ・パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- ・上記およびホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- ・OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- ・自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
- ・パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
- ・パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店にお願いします。
- ・仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
- ・パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

設定メニュー

本製品の各種設定(撮影記録設定やシステム設定)を行います。

設定メニュー

●設定メニューの入り方

1. 録画を停止します。→録画停止の仕方は「P24 モニター画面(タッチパネルスクリーン)」
2. アイコンをタッチします。
3. 設定メニュー画面が表示されます。



項目カテゴリー

設定項目は、[録画設定項目]および[システム設定]のカテゴリーに分けられています。



●[録画設定項目]

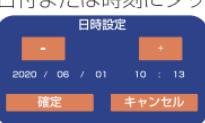
録画記録に関する設定を行います。

●[システム設定]

本機のシステムに関する設定を行います。

設定メニュー

各種設定項目

項目	設定内容	
常時録画	1分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。
	2分	
	5分	
Gセンサー 感度	低	Gセンサー（衝撃感知）の感度レベルを設定します。 低感度：衝撃が検出しにくくなります
	中	中感度：通常の感度
	高	高感度：衝撃を検出しやすくなります
	オフ	オフ：衝撃感知をオフにします（オフにすると衝撃による緊急録画を行いません）
自動録画 モード	オフ	本機の電源をオンにした時、自動で録画が開始されるモードの選択をします。
	オン	
音声録音	オフ	録画中の音声録音をオン/オフを選択します。
	オン	*リヤカメラの録画ファイルには音声は記録されません
リヤカメラ	正像	液晶モニターに表示するリヤカメラ映像表示を正像または鏡像に設定します。
	鏡像	*録画される映像データは正像となります
スクリーンオフ	1分	設定された時間を経過すると、液晶モニターを非表示にすることができます。
	2分	*画面タッチをすると、一時にスクリーンオフを解除します。
	常時表示	解除後、再度、設定されている時間が経過するとスクリーンオフとなります
言語設定	日本語	表示言語を日本語または英語から選択します。
	English	
操作音設定	低	録画時の音量および本機の操作音を設定することができます。
	中	
	高	
フリッカレス	50Hz	録画時にLED信号灯や蛍光灯などのちらつきを防止します。 ・50Hz：東日本地域の場合に設定します
	60Hz	・60Hz：西日本地域の場合に設定します
日時設定	日付または時刻にタッチして日時設定を行います。	
	 <p>※GPS信号が測位している場合は設定できません ※誤った日時に設定されると、録画ファイルの上書き順序が変わってしまうため、正確な日時を設定してください</p>	
システム	<ul style="list-style-type: none"> フォーマット：microSDカードをフォーマットします。 →フォーマット方法は「P14 microSDカードのフォーマット」参照 リセット ：本機の設定をクリアして工場出荷状態にします。 ※microSDカードのデータは消去しません 	
ファームウェア	本機のバージョン情報を表示します。	

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターの接続不良の可能性があります	●シガーエネルギーアダプターを一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーソケットに確実に差し込まれているかを確認してください。
	●分岐ソケットを使用していませんか？	●シガーエネルギーアダプターを分岐されたソケットに接続すると、火災や感電および誤動作の原因となります。
	●付属のシガーエネルギーアダプターを使用していますか？	●付属のシガーエネルギーアダプター以外の電源を使用しないでください。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-10° ~ +60°」の温度環境下で使用できます。
	●常時電源ケーブルをご使用の場合、専用品を使用していますか？	●本機専用の常時電源ケーブル以外は使用しないでください。また、各端子が確実に接続されていることを確認してください。
誤作動をする	●本機のシステムが誤作動を起こしている場合があります。	●本機のリセットボタンを押してください。
録画したはずのファイルがない	●常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをお勧めします。
録画ができない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。または、再度microSDカードの抜き差しをおこなってください。
緊急録画ができない	●緊急録画ファイルがいっぱいになっていますか？	●Gセンサー感度の設定を見直してください。 →Gセンサー感度設定「P38設定 メニュー」参照
タッチパネル操作が出来ない	-	●システムエラーの可能性があります。 リセットボタンを押して、再起動してください。
液晶画面が表示しない	●スクリーンオフを設定していませんか？	●「スクリーンオフ」の設定を見直してください。常時表示させたい場合は、スクリーンオフを[常時表示]にしてください。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	-

トラブルシューティング

症状	原因	対処方法
操作音が鳴動しない	●操作音設定が低くなっていますか？	●設定メニューの「操作音設定」を見直してください。
再生した時音が出ない	●音声録音がオフになっていますか？ ●操作音設定が低くなっていますか？	●設定メニューの「音声録音」を見直してください。 ●設定メニューの「操作音設定」を見直してください。
映像画面が突然赤くなる	-	●光源がなく、真っ暗な状態から急に明るい環境になった場合もしくは真っ暗な状態になった場合に一瞬だけ映像画面が赤く表示される場合があります。 ※起動直後、リヤカメラ映像が一瞬、赤くなる場合もあります →カメラセンサーの性質であり、本体の異常ではありません。
GPSが受信できない	●GPS電波が受信しづらい場所を走行していますか？ ●本機を起動したばかりではありますか？ ●内蔵GPSが受信できない車内環境ではありませんか？	●トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。 ●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります、しばらく経ってから再度確認してください。 ●車種によっては、GPSが受信しにくい可能性があります。 ●別売品のGPSユニットをお買い求めください →GPSについて「P7注意事項」参照
他の車載器に影響が出る(テレビが映らない等)	-	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ付近に設置すると誤動作する場合があります。 →テレビ、ラジオ、ETCアンテナ等から50cm以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。 また、車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。
駐車監視録画が出来ない	●別売品の専用常時電源ケーブルを使用していますか？ ●常時電源ケーブルは、正しく接続されていますか？	●専用の常時電源ケーブルの接続が正しく接続されているかを確認してください。
画面が表示しない	●駐車監視モードではありませんか？ ●スクリーンオフ機能が設定されていますか？	●駐車監視モード時は画面表示しません。 ●スクリーンオフを設定している場合は、画面を表示しません。設定を見直してください。

トラブルシューティング

症状	原因	対処方法
再起動する場合がある	●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。
	●電源が入っている時に、各ケーブルの抜き差しをすると、本体が再起動または電源オフになる場合があります。	●電源が入っている状態で、ケーブルの抜き差しは行わないでください。 思わぬ動作となる場合や故障する場合があります。
信号機表示が消えてしまう	-	●映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できることによる事故やトラブルに関して、弊社は一切その責任を負いかねます。
緊急録画が頻繁におこなわれる	●Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。	●設定メニューの「Gセンサー」から設定を変更してください。
画面がちらつく	●電源供給が不安定な可能性があります ●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●付属品のシガーエンターライズアダプターを使用してください。 ●分岐されたシガーソケットを使用している場合は、直接車両のシガーソケットに差し込んで使用してください。
リヤカメラが表示しない	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●リヤカメラは接続されていますか。 ●各ケーブルの接続を見直してください。
SDカードエラーが発生する	●定期的にSDカードをフォーマットしていますか? ●SDカードが正しく挿入されていますか? ●SDカードが破損している可能性があります。 ●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●SDカードをフォーマットしてください。 ●SDカードを正しく挿入し直してください。 ●SDカードを交換してください。 ●パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ●本機を再起動してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください
フォーマットができない	●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。 ●microSDカードを交換してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されます

トラブルシューティング

エラーメッセージ表示について

メッセージ内容	対処方法
SDカードを挿入してください	<ul style="list-style-type: none">● SDカードが挿入されていませんので、SDカードを確認してください。● SDカードが認識できていない可能性があります。再度脱着をしてください。● SDカードが破損して認識できていない可能性があります。別のSDカードに取り替えてみてください。● パソコンでSDカードをフォーマットしてみてください。
SDカードエラーです SDカードをフォーマットしてください	<ul style="list-style-type: none">● SDカードをフォーマットしてください。● SDカードが認識できていない可能性があります。再度脱着をしてください。● SDカードが破損して認識できていない可能性があります。別のSDカードに取り替えてみてください。● パソコンでSDカードをフォーマットしてみてください。
SDカードが認識できません	<ul style="list-style-type: none">● 録画中にSDカードを抜いたときに表示されます。● SDカードを抜く場合は、録画を停止してください。また、録画中にSDカードを抜くとSDカードが破損する可能性があります。

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折り含む)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

その他

別売品

●常時電源ケーブル(製品型番:DRC-P05)

- ・駐車監視時機能を使用したい場合は、常時電源ケーブルをお買い求めください。
- ・専用常時電源ケーブルは、常時電源(バッテリー)、アクセサリー、アースの接続が必要となります。取り付けには、専門の知識と技術が必要となりますので、販売店や専門技術者へ依頼してください。
- ・専用常時電源ケーブル以外は使用できません。

<ご注意（あらかじめご了承ください）>

- ・常時電源ケーブルご使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- ・次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでのご使用には十分ご注意ください。
 - ▶毎日走行しない場合
 - ▶1日の走行が1時間以下の場合
 - ▶車両バッテリーを1年以上使用している場合
- ※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください
- ・常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- ・常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、録画時間（録画回数）が少なくなる場合があります。
- ・専用常時電源ケーブルを使用したことによる車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・車両のシステム（ハイブリッドシステムや電気自動車等）によっては、期待した動作にならない場合があります。

<常時電源ケーブル接続時の動作について>

▶駐車監視録画を行わない場合：

エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。

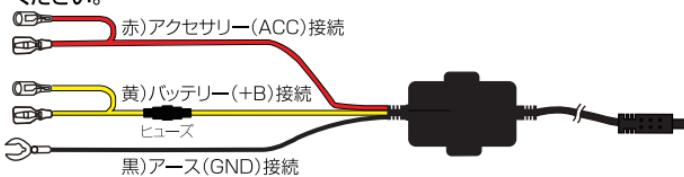
▶駐車監視録画を行う場合：

エンジンを停止すると、液晶モニターに[駐車監視]のボタンが表示されます。[駐車監視]をタッチすると、一度電源がオフとなり、その後、約1分後駐車監視モードに切り替わります。

駐車監視モード中、車両のバッテリー電圧が一定の電圧に降下すると（※）、車両バッテリーからの電源供給を停止し、電源をオフとなり、駐車監視モードは終了します。

（※12V車：12V/ 24V車：23Vで電力供給を止めます）

⚠ 常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。



●外付けGPSユニット

- ・本機はGPSが本体に内蔵されていますが、車種や取り付け位置によってGPSが受信しづらくなる場合があります。その場合は、別売品GPSユニットをお求めください。

仕様

型番	DZ-520GR	
商品名	GPS搭載リヤカメラ付き360°ドライブレコーダー	
ディスプレイ	5インチタッチパネル	
フロントカメラ	イメージセンサー 最大記録画角 フレームレート f値	SONY STARVIS CMOS sensor 水平360°・垂直225° 27.5fps 2.0
リヤカメラ	イメージセンサー 最大記録画角 フレームレート f値	SONY STARVIS CMOS sensor 対角135°・水平115°・垂直65° 25fps 1.6
ループ録画時間	1分/2分/5分	
録画ファイル容量	常時録画=約50分・SOS録画=約21分	
動画解像度	フロントカメラ=1920×1920(約370万画素) リヤカメラ=1920×1080(約200万画素)	
静止画解像度	フロントカメラ=1920×1920(約370万画素) リヤカメラ=1920×1080(約200万画素)	
WDR	対応(フロント・リヤ)	
駐車監視モード ※	対応(衝撃感知)	
音声録音	○(オン・オフ可能)	
Gセンサー	○(感度設定可能)	
GPS	内蔵	
PCビューワー	○(専用PCビューワーソフト)	
ファイル形式	動画=.ts・静止画=.jpeg	
電源	DC12V-24V	
定格電流	2.0A	
動作温度範囲	-10°C～+60°	
保存温度範囲	-20°C～+70°	
内蔵電源	スーパーキャパシタ	
本体サイズ	約136.2(W)×78.5(W)×34.5(W)mm	
リヤカメラサイズ	約72(W)×28(H)×40(W)mm	
本体重量	約259g	
リヤカメラ重量	約33g	
付属microSDカード	16GB/Class10	

※ 駐車監視機能を使用するには、別売の専用常時電源ケーブル(DRC-P05)が必要になります

- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にてお求めください。
- ・本機の仕様および外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

SONY STARVIS™ (スタービス)について

本機のフロントカメラおよびリヤカメラには、夜間やトンネル内等の暗い場所でも明るく撮影をできる高感度・高画質を実現した裏面照射型画素技術の「STARVIS」を採用したCMOSイメージセンサーを搭載しています。

※STARVIS(スタービス)および **STARVIS** は、ソニー株式会社の商標です

Regeo

販売元：株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

<http://www.innovativesale.co.jp/>

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp